

行政視察等報告書

2020年9月2日

米子市議会議長様

会派名 よなご・未来
 代表者氏名 西川章三
 提出者氏名 土光均



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	土光 均
期日	2020年8月24日から2020年8月25日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 2020年8月24日から25日まで京都府同志社大学烏丸キャンパス志高館において開催された「全国政策研究集会」に参加。（コロナ禍のため現地への参加ではなくインターネット環境を使ったZOOMミーティングへの参加） <全国政策研究集会：参加 講演会&質疑やりとり> ・コロナ危機そして気候危機、二つの危機を自治体から考える 講師：谷崎テトラさん（京都大学客員教授/メディアプロデューサー） ・子ども優先のまちづくり、ユニークな兵庫県明石市政の挑戦 講師 泉房穂さん（明石市長） ・森友問題から問う公文書のあり方 木村真さん（大阪府豊中市議）、三木由希子さん（NPO 法人情報公開クリアリングハウス理事長）	
〔所感〕 泉明石市長の講演。コロナ禍の状況で市民が何に困っているか、それを行政としてどう支援するか、そのためにどのように市の組織を変え、人員を配置し、予算配分をしていったかの事例を紹介。。彼の「上から・一律・これまでどおり」の時代は終わった、必要なのは「発想の転換」とのスタンスは全くその通り。 木村氏による森友問題での公文書の改ざんの実事経過、また三木氏による、公文書の本来の役割を様々な事例をもとに講演。公文書を残すということは「組織の栄養」「説明責任を果たす」ためだという言葉が印象的だった。	
経費	参加費・資料代 4,000円